

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010302020300		事業の種類	4		
年度	27	事務事業名	放課後子ども教室推進事業		予算事業名	放課後子ども教室推進事業 優先度 3		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課			
施策名(中)		地域で青少年健全育成の環境をつくる		担当課長	西角 隆行		担当者名	山本 晃嗣
取組み事項		青少年活動の機会や場の充実を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童とその保護者						
	誰(何)を対象として	小学校児童						
	意図(どのような状態にしたいのか)	放課後に安心安全に活動できる場所の確保及び地域・世代間交流						
事業の全体年度		事業着手年度			(年度)	事業完了予定年度		

2 事業の概要 Do

実施の概要		小学校全学年を対象に、週2回から3回、放課後から午後4時30分(冬季は午後4時)まで、地域住民の協力の下、学校施設を利用し、安心できる学習の場や遊びの場を提供する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	開設校	学校数	6	7	7	7	

3 投入資源

会計区分		一般会計				事業費単位:円			
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.144	0.124	86	0.160	129	0.153	96	
	臨時職員	0.672	0.728	108	0.648	89	0.648	100	
支出内訳	人件費	3,064,610	3,088,325	101	3,174,686	103	3,272,208	103	
	事業費	1,843,080	2,121,778	115	2,039,963	96	2,536,000	124	
	合計	4,907,690	5,210,103	106	5,214,649	100	5,808,208	111	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	1,100,000	855,000	78	855,000	100	855,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,807,690	4,355,103	114	4,359,649	100	4,953,208	114	
合計		4,907,690	5,210,103	106	5,214,649	100	5,808,208	111	

※ 事業の進捗状況

項目		25年度	26年度	27年度	28年度	備考
全体進捗率	事業費累計					
	進捗率					

4 評価指標

【有効性】

指標名1		開設学校数							
指標説明(式)		学校数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
学校数	目標	6	7	116.7	7	100.0	7	100.0	
	実績	6	7	116.7	7	100.0			
指標名2		参加児童数							
指標説明(式)		延参加児童数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	9500	15000	157.9	15000	100.0	15000	100.0	
	実績	13725	14040	102.3	14620	104.1			

【効率性】

指標名1		受け入れ一校あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷開設学校数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	861136	755199	87.7	855752	113.3	829744	97.0	
	実績	817948	744300	91.0	744949	100.1			

指標名2		受け入れ一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷延べ参加者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	543	352	64.8	399	113.4	387	97.0	
	実績	357	371	103.9	367	98.9			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性	目的の妥当性	ボランティアの方々により、子どもたちに安心安全の提供ができています	4
	市民ニーズ	安心安全に活動できる場所の確保	
有効性	成果目標(改善)達成度	参加児童は増えている	4
	市民サービス	様々な活動を通して、子どもの能力を引き出す	
効率性	コストの節減	指導ボランティアの適切な配置により、無駄のない運営が行われた	4
	手段の最適性	指導ボランティアによる適切な運営が行われた	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	指導ボランティアの確保



配点	32.5
総合評価	24

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	入級児童数によるボランティアの適切な配置

(2) 29年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	児童の安全に配慮するため、必要とするボランティアの確保に努める
見直事項	
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持